

# PC-壁体工法

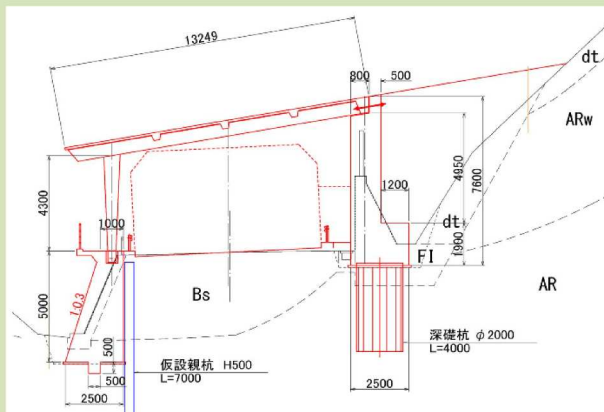
NETIS 登録 NO.KT-990077-V

## スノーシェッド・ロックシェッドの側壁利用

主要幹線道路の雪崩や落石による通行止めの経済損失は約 9,000 万円/日との試算があります。これら多発地帯を中心に対策工事が急がれる中、人海戦術に基づいた従来工法では慢性的な人手不足が解消できず、複数年度に渡る難工事が行われているのが現状です。

そこで、これらの諸問題の解決策としてコンクリート二次製品である「PC-壁体工法」をご提案いたします。

### 従来工法の一例（深礎杭＋L型擁壁）

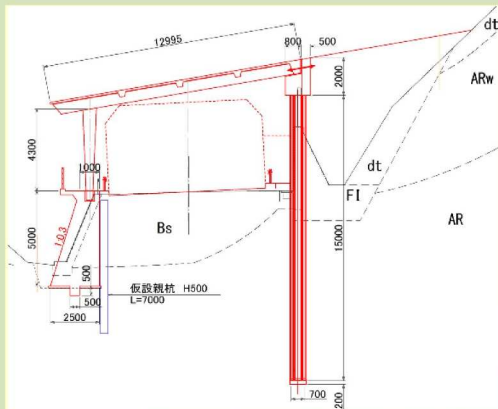


工種が多く、手配が困難

降雪期前に完了できない

山側法尻を掘削できない

### PC-壁体工法



工期は従来工法の半分以下

躯体幅が小さい

法尻の掘削は最小限

少ない工種で手配がシンプル



## PC-壁体工法の特長

### 工種が少ないので工期が短縮できる

プレキャスト製品を沈設することで下部工から側壁までの築造ができ、省力化はもちろん工期が従来工法比で半分以下。シェッドの降雪期前に建設を実現。

### 自立構造による安定性

上部側壁と下部工が一体構造で地中部に十分に貫入することにより、地震時でも安定。全国で600件以上の施工実績が証明。

### 躯体の幅は最少

下部工から側壁まで躯体幅は最大で900mm。近接するケーブルや埋設管等への影響が少ない。また、背面盛土の材質も幅広い選択が可能。

### 高い剛性

地山部にも盛土部にも対応でき、上部工の反力を負担しながら最大9m程度の土圧に適応。



#### ■お問い合わせ先■

日本コンクリート工業(株) 土木製品事業部

本社

(TEL)03-3452-1052

(FAX)03-3452-1123

大阪支店

(TEL)06-4963-6911

(FAX)06-4963-6916

仙台事務所

(TEL) 022-217-2006

(FAX) 022-265-5020